



いなほ



令和4年1月17日
令和3年度学校だよりNO.42③
加古川市立平荘小学校

「阪神淡路大震災」から学ぶ

子どもたちは、1月11日（火）から14日（金）の間に、道徳や学級活動の時間を使って、「阪神淡路大震災」について知り、そこから「命の尊さ」について考えました。



T:「みなさん、『阪神淡路大震災』って聞いたことはありますか。『阪神淡路大震災』は、どこで起こった災害でしょう。」

C:「阪神淡路とあるから、淡路で起こっています。」

C:「神戸で起こりました。」

※『阪神淡路大震災』は、1995年1月17日に発生した兵庫県南部地震により発生した災害のことです。震源地は、淡路島北部です。この地震によって、淡路島北部、神戸市、西宮市、芦屋市、宝塚市は、震度7でした。そして、東北から九州まで広範囲で有感となりました。もちろん加古川市も大きな揺れを感じました。



T:「これは、阪神高速道路が倒れてしまった写真です。これを見て、大変衝撃を受けました。」

『阪神淡路大震災』が起こったのは、1月17日午前5時46分です。今の時期の早朝は、どんな感じでしょう。」

C:「とても寒いです。今日、登校している時もめちゃくちゃ寒かったです。5時46分って、まだ寝ています。」

※ 1月の今の時期は、本当に寒い時期です。午前5時46分は、早朝で、人々が活動し始めた頃です。これが、2時間後の地震発生だったらどうでしょう。早朝であっても、この地震によって多くの方々が命を落とされました。



T:「目を閉じて15秒数えてみましょう。」
「15秒の長さをどう感じましたか。」

C:「長かったです。」

※兵庫県南部地震で最初に約15秒の揺れがありました。この約15秒の揺れによって、6434人の命が奪われたのです。





T:「たった1秒先が予知できない人間の限界。
地震により、目の前の道路が無くなってしま
ったり、線路がグニャグニャになってしまっ
たり・・・と。本当に大きな震災です。」
※兵庫県に住んでいる私たちだからこそ、『阪
神淡路大震災』から学んだことを、これから
の私たちの生き方に生かしていくことが大切
です。そして、兵庫県から全国（外国）へ
『地震から身を守ること』や『命の尊さ』を
発信できるといいですね。



どうして、『はるかのひまわり』
というのでしょうか。

絵本『はるかのひまわり』をパワーポ
イントで子どもたちに紹介しました。
子どもたちは、「あっ、1月16日や。
阪神淡路大震災の前の日や。」とか、『はる
かとお母さんは夜の10時に京都から帰っ
てきました。』と伝えると、「17日まであ
と2時間や。」と、ドキドキしながら話を
聞いていました。



いつか
(はるかの姉)

1月16日

はるか
〔6年生〕



わたしと おとうさん



はるかと おかあさん

1月17日

今日は、地震による避難・津波訓練を行いまし
た。先週、各クラスで、地震が起こった時に、どう行動すべきかを学習しています。それをもとに、実際
に避難訓練を行いました。ご家庭でも、地震が起こった時にどうするかを話し合っただけだと、大変
ありがたいです。

※平荘小学校『はるかのひまわり』絆プロジェクトを通じて、『地震から身を守ること』や『命の尊さ』に
ついて常に意識しながら子どもたちが生活できることを願っています。